

令和6年2月26日

湖西市長 影山剛士 様

湖西市環境審議会  
会長 平井 一之

湖西市地球温暖化対策実行計画の策定について（答申）

令和5年11月17日付け湖環境第517号で諮問のあった「湖西市地球温暖化対策実行計画」について、本審議会において慎重に審議を行った結果、本計画案は妥当であると判断し、下記の意見を付して答申する。

記

- 1 本計画は、湖西市が2050年ゼロカーボンシティを実現するために施策ごとに具体的な目標と数値を掲げている。目標に対する達成状況についても、年に1回は具体的な数値を示して市民に情報提供するとともに環境審議会に報告されたい。
- 2 本計画は、2030年度及び2050年度に達成を目指す多数の目標を掲げている。目標は野心的であり、達成のためには大胆かつ着実に実行する必要がある。それぞれの目標を達成するため、具体的な手法を早期に確立されたい。
- 3 ゼロカーボンシティの実現に向けては、市民や事業者等の協力が不可欠であり、行動変容が図られるよう、周知啓発などを行い、意識醸成を積極的に図られたい。
- 4 地球温暖化の緩和を目的とした地球温暖化対策実行計画の策定だけでなく、気候変動の適応を目的とした気候変動適応計画を速やかに策定されたい。
- 5 太陽光発電設備の導入推進について、本市において最もポテンシャルが高いとされる一方、森林を伐採して傾斜地にされる事例などから、防災や景観の面で懸念の声が寄せられている。太陽光発電設備の導入推進に当たっては、災害の発生の防止並びに自然環境及び生活環境の保全を図ることを両立されたい。
- 6 ブルーカーボンによる温室効果ガス吸収源の確保について、アマモ場の保全は浜名湖に面する湖西市ならではの項目であるため、地域の特性を活かした取り組みとして評価できる。温室効果ガスの吸収のみならず、多種多様な生態系の確保や漁業や観光業への経済的な貢献、環境保全の教育など多方面にわたり地域への恩恵が期待されるため、「オール湖西」の枠を超え、国、県、浜松市及び関係機関等と連携し取り組まれたい。

以 上